

兵庫の建築
Architecture of
HYOGO

圓教寺 大講堂・食堂・常行堂 国指定重要文化財 竣工年(移築) 室町時代 所在地 兵庫県姫路市書写2968(本坊)

そこには時を超えた静寂な空気が今も漂っている。書写山圓教寺「三之堂」(みつのどう)西の比叡山とも呼ばれる天台宗別格本山圓教寺に位置する大講堂・食堂・常行堂。この建造物は平安から室町時代に創建されコの字型に立ち並び、修行道場として圓教寺の中心となっており中世の建築様式を今なお忠実に伝えています。大講堂は圓教寺の本堂に当たる室町中期の建物で和様を基調とした折衷様式に内陣を土間とした天台宗の伝統的な本堂形式の建造物である。食堂は長さ40mにも及ぶ別名長堂とも呼ばれている二階建築で他に類を見ないので、内観では大仏様の特徴を示す虹梁貫貫の直線形袖切や挿肘木が組み込まれた柱の列柱が立ち並ぶ姿は圧巻である。常行堂は方五間で長さ十間の細長い楽屋と中央に張り出した大講堂の釈迦三尊に舞楽を奉納するための舞台から構成されている。妻飾に施された猪目懸魚や間斗束が古制を忠実に伝えている。

技法として特筆すべきものとして、「隅延び」と「六枝掛の手法」が顕著にみられることである。隅延びは中世以前の寺社建築にみられる隅の柱を中の柱より高くするもので、これは意匠上の理由と経年変化で不同沈下しやすいことに対応するためのものでわずかな量であるが、これには桁通りより内側から水平垂直方向の三次元的に曲線を描く高度な技術を要し、大量に寺社建築が建立されるようになった江戸時代以降にはその手間と時間を省くために使用されなくなった貴重な構法である。また六枝掛の技法は枝割によって組物を割付をするようになった鎌倉時代に、柱間・組物・軒が全て枝割を基準として寸

法的な整理統一が図られた姿がこの建造物でははっきりと確認できる。

古来から続く修行空間であるこの場に立つと、当時の僧侶の厳しい行を重ねている凛とした姿が時を超え脳裏に浮かんでくるような特異な空気を今もなお醸し出している名普請である。



食堂：外観（東面）



食堂：内観（下層）



常行堂軒先：隅延び・六枝掛の手法

文：西嶋 宣久（姫路支部） 写真：石原 弘一（姫路支部）

目次	P.1 兵庫の建築・圓教寺 大講堂・食堂・常行堂
	P.2-3 令和7年度 公益社団法人 兵庫県建築士会 定時総会 報告
	P.4 令和7年度 特別講演会 事業報告

メール配信と名簿のご案内

「集 tsudo」誌面に掲載できない情報などを「兵庫県建築士会メールニュース」として配信しています。受信希望の方はホームページからメール配信登録をしてください。またホームページの名簿への掲載を希望される方は会員建築士名簿のページからお手続きください。



■活動報告



①シン・ASHIGARU隊の地域貢献事業の「しおかぜこみち 東屋再生プロジェクト」の報告を頂きました。



②女性委員長山本委員長より、全国や近畿での活動や、委員会活動をご報告頂きました。



③昨年近畿学生住宅大賞で最優秀賞を受賞された増本様に参加頂いてご報告頂きました。

賛助会員の北村工務店、イケダコーポレーション様よりも製品等のご案内頂きました。

その他の賛助会員様も当日の配布物を参加の皆様にお渡し致しました。

■新理事挨拶

副会長 上田 達也

副会長を拝命致しました姫路の上田達也です。(公社)兵庫県建築士会の総務委員長及び本部理事を経験させて頂きました。そこで培った経験を生かして微力ながら、建築士会の発展の為、又会員様の御一人御一人にとって、より良い活動が出来るように尽力させて頂きますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

本部理事 有賀 芳子

会員の皆様のお力添えとなるべく、誠心誠意努めてまいり所存です。宜しくお願い致します。建築を取り巻く環境が大きく変化する中で、建築士の責任と社会的役割も変化していると思います。若手人材の育成など、建築士会の課題に対して、理事として積極的に取り組んでまいります。宜しくお願い致します。

本部理事 榮 宏之

昨年度までは淡路支部長として関わらせていただいておりますが、今年度から本部理事を拝命致しました。本部での活動経験も浅く、ご心配をおかけする部分も多々あるかと思いますが、社会や地域に必要とされる建築士会を目指して微力ながらお手伝いさせていただきます。ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

本部理事 田村 嘉朗

微力ながら初めて本部理事としての重責を担うこととなりました。時代は大きな変革の中にあり、私たちも前向きな変化を余儀なくされていると感じます。正副会長を補佐する遊撃隊として、経験を活かしつつも過去にとらわれず、新鮮な感性で会員の皆さんと次世代の建築士会づくりに参画できれば幸いです。よろしくお願い致します。

本部理事 槇本 光展

(公社)兵庫県建築士会本部理事を拝命しました、神戸支部の槇本光展と申します。本部理事は、委員会活動全体を俯瞰し、幅広く、多岐にわたる視点が必要とされると思われ、いささか微力故の不安はありますが、研修委員長の経験を活かし、尽力いたしたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本部理事 渡邊 一洋

2年前にまちづくり委員長を4年間務めさせて頂きましたので理事としては再登場の渡邊一洋です。この度は特に、災害対策委員長を兼務することになりました。災害の激甚化・頻発化に対応するため、防災意識の向上や防災対策の強化が求められております。この重要な役割を担うにあたり、皆さまとの協力関係をより一層強化していく所存です。今後共ご指導ご鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

総務委員長 山本 幸治

総務委員長を拝命しました山本と申します。委員会所管より、定款・規則の見直しや本会運営に関する事項が内容になります。委員会の皆様や事務局と協力し、建築士が加入し活動しやすく出来るような本会に出来たらと考えておりますので、皆様、ご協力よろしくお願い致します。

企画情報委員長 永瀆 宏紀

新理事を拝命いたしました姫路支部の永瀆宏紀と申します。身に余る大役ではございますが、諸先輩方のご指導を仰ぎながら、誠心誠意努めてまいり所存です。変革の時代、業界の発展に貢献できるような研鑽を重ねてまいりますので、今後とも変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

研修委員長 金時 裕

新理事(研修委員長)を拝命しました明石支部の金時裕です。コロナ禍はおさまりました。しかし値上げ、人手不足、法改正等、建築士を取り巻く環境はきびしいところです。それに少しでも役立てる講習会、見学会を会員の皆様に案内していきたいと思っております。微力ではありますがよろしくお願い致します。

青年委員長 阪口 晴彦

青年委員長を拝命いたしました加古川支部の阪口晴彦です。理事の中でも若輩となりますが、若さを活かした進言が出来ればと思っております。企画情報委員長からの横滑りではございますが、引き続き微力ですが踏ん張らせていただきますのでどうぞよろしくお願い致します。

女性委員長 山本 和代

女性委員会委員長を務めます山本和代です。女性の仕事や生活はライフステージで変わることが多いと言われますので、女性委員会は気軽に参加し相談できる場づくりを心掛けたいと思います。企画する見学会やセミナー等には男性や一般の方々も参加して下さっており、情報発信を行い、開かれた会にしていきたいと思っておりますので、どうぞ協力ご参加をお願い致します。

■懇親会

今年も南京町の君悦飯店で懇親会を開催しました。

61人の方にご参加頂き盛大に開催できました事をご報告いたします。

ご参加頂きました皆様に、この場をお借りしましてお礼申し上げます。

文・写真：山本 幸治（総務委員長）

■秋吉 浩気 氏「ビルドデザインーつくりかたの設計」

本年度の特別講演会では、建築家・起業家として活躍されている秋吉浩気氏を講師にお迎えし、「ビルドデザインーつくりかたの設計」をテーマにご講演いただきました。

秋吉氏は、自身を“現代の棟梁”を意味する「メタアーキテクト」と位置づけ、建築設計にとどまらず、材料の流通や生産システムの構築にまで関与するなど、従来の建築家像とは一線を画す活動を展開されています。本講演では、そうした独自の視点から「つくりかたの設計」についてご紹介いただきました。

講演の前半では、建築の道に進んだ経緯や、大学卒業後に起業し、誰に依頼されなくとも、自らの必要性に基づいてプロダクトを開発・流通させるという現在のものづくりのスタンスに至るまでの背景についてお話しいただきました。また、AIを活用した家具デザインアプリの開発および、その製品を実際に製造可能とするシステムの構築・運用事例についてもご紹介いただきました。

後半では、起業から現在に至る約10年間の代表的なプロジェクトについて、具体的な事例を交えてご説明いただきました。初期の家具製作から仮設構造物、公共ベンチ、インテリア、パビリオン、さらには建築物へと、取り組みのスケールが段階的に拡大している様子がよく分かり、特に近年では、大規模木造集合住宅や約2,000㎡規模のリゾート施設など、より大規模なプロジェクトにも取り組まれており、活動の幅がより一層広がっているのが印象的でした。

質疑応答では、「今後、建築士の職能が不要になるのではないか」との問いに対し、秋吉氏は「社会システムが整備され、個人でも高品質なものづくりが可能になったとしても、それらを統合し、地域特性に応じた最適形に導く役割は依然として必要であり、それこそが建築士の専門性である」と回答され、我々の職能についても改めて深く顧みる機会となりました。



秋吉浩気氏のご講演の様子



当日の会場の様子

例年実施していた講演者作品の現地見学は、今回は遠方であることから実施を見送りましたが、実物をぜひ見てみたいという声も多く寄せられました。

また、本年度よりオンライン配信を終了し、現地開催のみに切り替えましたが、当日は会場がほぼ満席となり、対面形式への高いニーズが確認されました。

今回は青年委員会への新規参加促進を目的とし、講演会の冒頭に活動紹介を行うとともに、パンフレットを作成・配布するなど、広報活動も実施いたしました。

令和7年度 特別講演会

- 日 時：令和7年4月26日(土) 14:30～16:30
- 場 所：神戸市産業振興センター9階
- 講 師：秋吉 浩気 氏 (VUILD株式会社)
- 題 目：「ビルドデザインーつくりかたの設計」
- 定 員：入場50名
- 主 催：神戸支部青年委員会

文：高麗 憲志（神戸支部） 写真：川田 靖（神戸支部）

令和7年4月26日開催